

— 研修報告 —

町村監査委員全国研修会
監査委員 河村 善一 議員

監査委員の責任の重要性和 監査に抜けないように

平成27年度町村監査委員全国研修会が、10月7日・8日の両日、東京のメルパルクホールにて開催され、代表監査の山本憲宏氏と参加した。

最初に、町村監査功労者76人に対する表彰があり、来賓の祝辞、開講のあいさつの後、研修会が始まった。

第一研修では立命館大学教授の平岡和久先生より、「『地方創生』政策下の町村を取り巻く諸問題」について話された。増田レポートの登場により「自治体消滅論」がにわかに議論されるようになったが、「地方創生」を超えて、慎重に議論されるべき必要があると話された。

第二研修では自治大学校客員教授で公認会計士の池田昭義先生より、「効率的監査の執行と監査責任について」話された。(1) 監査実務として① 監査責任(追求・質問)、② 意見書の書き方、(2) 改正公営企業会計の監査実務として、長年代表監査をさ

平成27年度町村監査功労者表彰式

二日間の研修を受け、あらためて監査の責任の重要性和と監査の抜けがないようにしたいと決意した。

全国町村議会広報研修会
副委員長 高橋 正夫 議員

議会だよりは広報機能と広聴機能を

去る10月20日(21日)平成27年度全国町村議会広報研修会が東京シーンバツハ・サボーで開催された。

全国から214町村議会の広報担当議員が参加しての研修であった。

当町議会からも広報常任委員6名全員が出席した。

研修内容は、

- ① 「伝える広報」から「伝わる広報」へ。
- ② 思わず手にとる 読みたくする議会だよりを目指して。
- ③ 優良議会広報クリニックスの3演題を受講した。

①の講義では、見やすい文書の作り方、読みやすい文の書き方、わかりやすい文書の書き方

②の講義では、3つの重要ポイントとして「何のために作るのか」「誰が作るのか」「ネットと紙媒体」

③の講義では、全国コンクール優良議会広報2町の受賞紙

を題材に「編集体制」「企画・構成」「編集・デザイン」「言語・文章」「表紙写真」等具体例をあげて詳細な講義を受講した。

今回の研修を受講して議会広報は、読者の立場で、身近な存在になるよう作成しなければならぬと思った。議会の活動状況を広く住民に提供するための「広報」機能のみならず、住民の声を汲みとり、住民と議会の意思疎通を図るための「公聴」機能を果たし住民と議会の懸け橋とならなければならないと感じた研修であった。



H27.7/13 彦愛犬議長会総会
(正副議長出席)



H27.7/25 平和のつどい
(正副議長出席)



H27.8/6
第34回慰霊願りレ一行進(遺族会)
(議長出席)



H27.8/18~20
平成26年度決算監査審査会

議会活動 日誌



H27.9/10 中学校体育大会
9/19 小学校運動会
9/26 幼稚園運動会



H27.10/3~4
那珂川町10周年記念式典
(議長出席)



H27.8/31
国体準備委員会
(議長出席)



H27.10/28
滋賀県町村議会議長会研修会
(全議員対象)

滋賀県町村議会議長会研修会

広報常任委員長 瀧 すみ江 議員

「原因・基本は何か」に立ち、検証する

10月28日、多賀町の総合福祉保健センターで、滋賀県町村議会議長会主催の第56回町議会議員研修会が開催された。

最初に、首都大学東京准教授山下祐介氏より「『地方消滅』に異論あり」のテーマで、「人口減少問題の原因をふまえ、適切な対処を持つて切り抜けなければならない。中心から周辺に戻していく。人が循環することが活力を生む」との講義があった。

次に、全国町村議会議長会議事調査部参与の小林猛氏より「議員の権限と義務」のテーマで講演があった。私達議員にとって、身近な内容であるだけでなく、議事の規則を再確認することができた。

2つの講演に共通して、「原因・基本は何か」に立ち、検証することが大事である」と感じた。

人事案件

職員懲戒審査委員(任期2年)

- 大和田敢太さん (再)
- 生駒 英司さん (再)
- 藤野 智誠さん (再)
- 東近江市 (再)

人権擁護委員(任期3年)

- 福田 俊男さん (新)
- 長野 (新)